

NetSuite 2022 リリース 1 で加えられたキャッシュ・フロー・ダッシュボードおよびプロジェクト・ダッシュボード、倉庫管理の効率化、およびその他の機能

Lisa Schwarz, Senior Director, Product Marketing

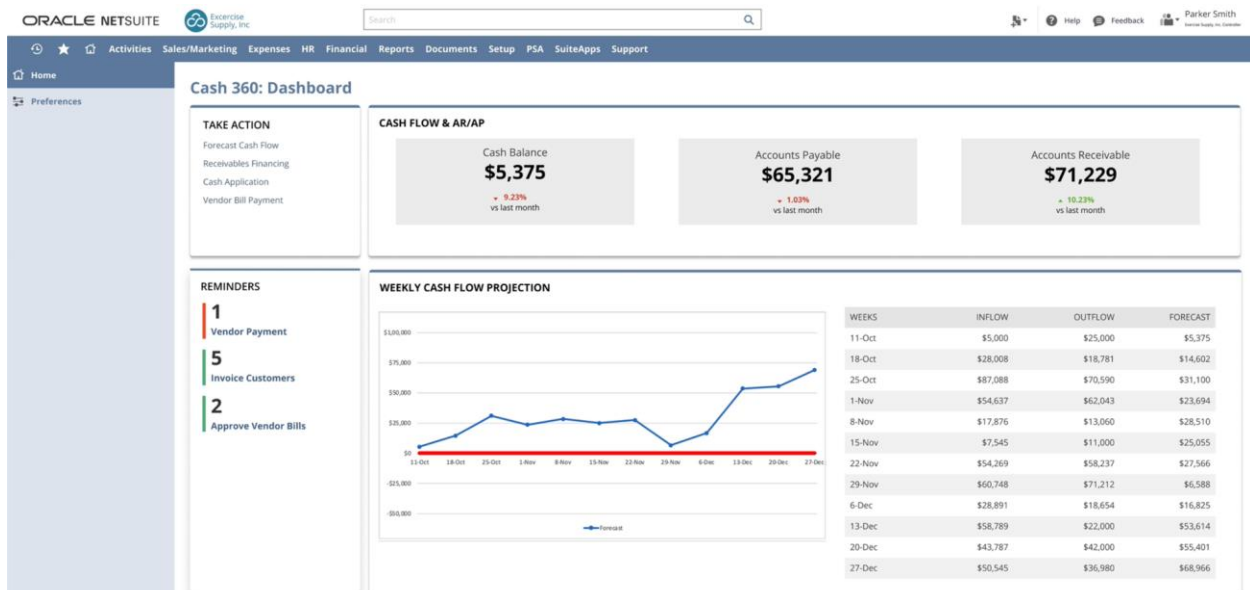
このいわゆる「ニュー・ノーマル」がいつどのように終わるかとこれまで2年にわたって待ってきましたが、まだ当面は、ほぼ毎週のように起こる機会や混乱に対応する能力が、拡大を続ける市場での成長のために引き続き必要のようです。

タイムリかつ正確なデータへのアクセス、手動のプロセスをできるだけ減らすこと、作業効率と顧客満足度の向上は常に有効ですが、今ではこれは当たり前になっています。NetSuite 2022 リリース 1 の新機能はこれらの目標を軽々とクリアするのに役立つのみでなく、次のようなことも可能にします。

- プラットフォーム内からの資金ポジションおよび予測の確認
- 単一のダッシュボードによるプロジェクト管理の可視性の改善
- 強化されたモバイル機能の活用による倉庫業務のさらなる効率化

現在および将来の資金ポジションの把握

- NetSuite 2022 リリース 1 にはキャッシュ 360 ダッシュボードが用意されており、企業の資金ポジションのリアルタイム・ビューによりキャッシュ・フローを効果的に管理するとともに、迅速かつ正確な短期のキャッシュ・フロー予測を生成できます。また、キャッシュ 360 は、企業がキャッシュ・フローを効果的に管理できるように、売掛金、買掛金、利用可能な資金をリアルタイムで監視する構成可能ダッシュボードを提供することにより、資金管理を簡素化します。現在のキャッシュ・フローの傾向やキャッシュ・フローの6か月のローリング予測を確認できるため、より多くの情報に基づいた意思決定が可能です。このリリースでは、新しい資金ソースや計画済支出、請求スケジュール、売上予測といった複数のデータ・ポイントと、未収売掛金および未払買掛金トランザクションとを組み合わせることにより、予測精度が向上しています。顧客ごとのデータに基づいた履歴平均が回収と支払の予測に適用され、これは予測の信頼性の向上につながります。



NetSuite キャッシュ 360 ダッシュボード

- NetSuite では[関係会社間会計](#)プロセスを自動化でき、財務および会計担当者が関係会社間の発注書や注文書を識別およびリンクするのが簡単になります。これは時間の節約になるとともにエラーとなるリスクが低減します。NetSuite 2022 リリース 1 ではこの機能が拡張され、仕入先請求書とクレジット・メモや前払金/買掛金調整を自動的にペアリングできるようになりました。

単一のダッシュボードからの効率的なプロジェクト管理

- 新しいプロジェクト 360 ダッシュボードでは、[SuiteProjects](#) 内の単一のワークスペースにプロジェクトのすべての側面が統合されており、クライアントやプロジェクト、リソース、財務の管理に必要なすべてのデータを含むすべてのプロジェクト関連情報を可視化することにより、複数のプロジェクトを監督するプロジェクト・マネージャーが時間と予算の範囲内でプロジェクトを遂行することを可能にします。

ダッシュボードには、重要な情報の概要や、予算 vs 実績やコンサルタントの稼働率といった KPI の監視に加えて、より詳細な KPI ビューを表示するフォーカス・ページや、例外アラートにより是正措置や事前措置を講じるための実行可能リンクが含まれています。

- プロジェクト請求では、顧客やプロジェクトごとに請求書に独自の詳細要件があって複雑になることがあります。カスタマイズ可能な新しい請求書表示テンプレートにより、クライアントごと、さらにはプロジェクトごとの必要に合う

ようにライン・アイテムのフォーマットを正確に構成できます。各コンサルタントが費やした時間や再委託業者のコストなどについての詳細な付加情報シートを含めてください。クライアントは請求書の支払に必要な情報を得ることができ、迅速な承認と支払が可能になります。

さらなる効率化のための倉庫管理コントロールの改善

- [NetSuite WMS](#) の新機能に、単一注文および複数注文のピッキング・プロセスの一部としてのゾーン・ピッキングおよびマージ機能があります。倉庫マネージャーは、業務に最適になるように特定のゾーンにピッキング担当者を明確に割り当て、ステージングのためにマージすることで、重複作業を避け、ピッキング担当者の移動を制限し、少量および大量の注文、異なる製品サイズ、異なるピッキング担当者数に対して柔軟に対応できるようになります。

WMS の使いやすさと操作性が向上し、どの画面からでもアイテム・ラベルを検索および印刷できる機能や、注文やウェーブのピッキング・ステータスを簡単に確認できる機能が追加されたことにより、倉庫就業者の生産性が向上します。また、ペーパーレス・ウェーブ・フィルタリングや、1回の操作で複数のウェーブをリリースする機能も導入されています。新しい検数スキャン機能ではスキャンされたときにアイテムがカウントされ、保管棚棚入、在庫移動、循環棚卸の追跡が行われます。

- [NetSuite Pack Station](#) の機能拡張により、必要に応じて重量単位をポンドとキログラムで切り替えられるようになり、正確さと効率が向上しました。また、梱包オペレーターが梱包を開始する前に梱包手順を確認できるようになりました。また、「そのまま出荷」アイテムを一括で梱包および開梱できるようになり、一括梱包する数量を選択できることに加えて、個別に出荷されるアイテムの梱包や開梱を一括で行うオプションも用意されています。

NetSuite 2022 リリース 1 のさらなる機能

これは、最新の NetSuite リリースで提供される新機能および機能拡張のほんの一部にすぎません。今回のリリースにおける固有の機能の詳細は、下記の各業界に関連するブログを参照してください。

- [製造業](#)
- [卸売業](#)
- [小売業](#)
- [サービス](#)
- [ソフトウェア](#)

- [非営利団体](#)

さらに詳しい情報が必要な場合は、[リリース・ノート](#)を参照してください。[リリース・プレビュー・テスト・アカウント](#)へのアクセスも忘れずにお申し込みください。ハンズオン・アクセスによりすべての新機能がお客様のデータ、ワークフローおよびカスタマイズでどのように役立つか試してみることが最善の方法です。

上記の事項は、オラクルの一般的な製品の方向性の概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。マテリアルやコード、機能を提供することのコミットメント(確約)ではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないでください。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリース、時期および価格については、オラクルの単独の裁量により変更される可能性があります。